

第8回 がんの治療と就労 両立支援

～がんになっても仕事を続けるための仕組み～

平成29年2月10日、A P 品川（東京都品川区）において、勤労者医療フォーラム「第8回がんの治療と就労 両立支援」を開催しました。

第8回目となる今回は『がんになっても仕事を続けるための仕組み』をテーマに、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

当日は、がん治療に携わる医療関係者の方や、企業の労務担当者や、がん患者ご本人又はそのご家族の方など、多くの方々にご参加いただきました。

【フォーラム参加者】

159名（女性：111名、男性48名）

【アンケート回収率】

67.3%（配布159名、回収107名）

【満足度】

- * フォーラム全体：78.5%
- * 基調講演：80.4%
- * パネルディスカッション：42.1%

***** 参加者の声 *****

<50代女性>

復職コーディネーター基礎研修に興味をもった。

<30代女性>

貴重な話を伺うことができた。がんの治療と就労両立支援にはまだいろいろな課題があると認識した。

<50代男性>

企業におけるガイドラインの活用が参考となった。これから就労支援を社内で充実させていくための良いヒントをもらうことができた。



【基調講演の様子】

(写真) 厚生労働省健康局がん・疾病対策課
相談支援専門官 小野由布子氏



【基調講演の様子】

(写真) 一般社団法人全国がん患者団体
連合会理事長 天野慎介氏



【パネルディスカッションの様子】